

		達成度調査及び児童の学習状況から見た成果と課題 ○成果 ▲課題		
		第4学年	第5学年	第6学年
結果の分析	国語	○書く力・言語についての理解 ▲文学的文章の内容の理解	○書く力・読む力 ▲話す力・聞く力と言語事項	○説明的文章・言語事項は高い ▲文学的文章の内容・心情の理解
	社会	○資料から町の様子などを読み取る力 ▲地理的内容の理解	▲地域の人の安全を守るための活動および良好な生活環境を守るための活動の理解	▲学習をもとにして思考を深めたり、資料と結び付けて考えたりすること
	算数	○数学的な考え方 ▲角の比較や数の規則性を見つけること	○数量や図形についての知識・理解 ▲直線の垂直の関係の理解	▲問題に応じて既習事項を活用して考えることおよび割合の理解
	理科	○科学的な思考・表現 ▲自然現象についての知識・理解	▲季節と生き物、および月と星についての知識・理解	○科学的な思考・表現 ▲科学的事象の観察や実験から考えをもつこと
		第1学年	第2学年	第3学年
	国語	○話す力・聞く力および言語事項が特に高い	○書く力はほぼ達成できている ▲話の内容の聞き取り	○書く力・読む力ともほぼ達成できている ▲話の内容の聞き取り
	算数	○技能および数学的な考え方が高い	○技能・数学的な考え方とも達成できている ▲順序数や図形関係にやや課題がみられる	○どの観点についても、ほぼ達成できている
調査以外の教科についての成果と課題	○意欲的に学習に取り組む児童が多く、楽しみながら表現することができる。 ▲発想は豊かだが、道具の使い方が稚拙なため、それを技能面で発揮できない児童がいる。個に応じた支援が必要である。			
調査以外の学年についての成果と課題	○一人一人の達成状況を把握しながら個に応じた学習を展開し、定着・習熟を図ってきたため、基礎的な力は身に付けることができている。 ▲自分の感想や意見をもって読んだり、読書と関連させた調べ読みをさせたりすることにより、主体的に文章を読む力を育てる。			
昨年度の「指導改善プラン」に基づく取組の成果と課題	○T. T. や習熟度別少人数指導を通して、各々が客観的な評価を行い、それに基づく個に応じた指導の工夫を図ることができた。 ▲昨年度の校内研究と関連して、国語科に限らず伝え合う活動を重視した授業展開に取り組んできたが、相手の話をよく聞いて理解し、考えを受け止めつつ自分の考えを深める力の育成には、より一層継続した取り組みが必要である。			
改善の方針	①基礎・基本の徹底を図るため、日々の授業における振り返りの場の設定や小テストによる学習状況の把握等を通じて、指導内容の確かな定着を図る。また少人数指導やT. T. の指導方法・形態をさらに工夫し、個に応じた指導を行う。 ②引き続き、全教科領域において伝え合う活動を重視した授業展開に取り組み、相手の話の中心やその意図は何かを意識して聞く力を育てる。また、相手の考えを受け止めながら自分の考えを深め、それを発信する力を育てる。 ③多様な体験的活動、課題解決的な学習を通して、実感を伴う理解を促すとともに、各教科で身に付けた知識や技能を関連付け、学習や生活の中で総合的に働く力を育てる。			

<p>学校としての改善の取組</p>	<p>【全教科を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝え合う活動を意図的に設定し、児童が互いの考えを正しく聴く機会を増やすとともに、それを交流することの楽しさを味わい、自分の考えを発信する力を高めることができるようにする。 ・校内研究と関連して、問題や資料から必要な情報を取り出し、それを比較・関連付け、解決するという「読み解く」の思考の流れを大切に授業を工夫する。 <p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読みの目的に向かって書く活動、話す・聞く活動、読書活動を関連させた単元を構成したり、学校図書館や学級文庫を活用するとともに担任による読み聞かせを定期的に行ったりして、読書の習慣をつけ、文章に触れる機会を多くする。 ・平仮名・片仮名・ローマ字・漢字の読み書きを繰り返し練習し、小テストを行うことで定着度を把握するとともに、習熟を図る。 <p>【社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料などの読み取りを多く取り入れることで正しく読む力をつけ、複数の資料から分かったことを関連付けて考えることができるようにするとともに、活用の仕方・まとめ方を指導し、学習内容と日常生活との一体化を図る。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標や指導内容を明確にし、児童が既習事項を活用して問題解決に取り組む時間を確保するとともに、自分の考えを表現したり説明したりできる場を設定し、互いの考えを交流しながら理解できるようにする。 ・習熟度別少人数指導における指導形態や評価方法など効果的な指導を工夫し、指導者相互の連携をより密にする。 <p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験結果と考察のまとめ方、また単元で学んだ重点を自分の言葉でノートに書くようにするなどノート指導を丁寧にする一方で、科学的な思考・表現や知識理解の定着を図る。 ・指導者相互の連携をより密にし、T. T. における指導形態や評価方法など効果的な指導を工夫する。
<p>教員の改善の取組</p>	<p>【全教科を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の話の中心を意識して聴くことを習慣づける工夫をするとともに、1時間の授業の中に児童の実態に応じた形態で、互いの考えを交流する場面を作る。 ・各学年の課題から具体的な改善点を明確にし、伝え合う力および読み解く力の育成について学年会で共通理解を図りながら指導を行っていく。 ・1時間の学習のねらいを明確にして授業を展開するとともに、ノート指導に力を入れ、学習の成果をノートで確認することができるようにする。 <p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手意識や目的意識を明確にし、読む・話す・聞く・書く必然性をもたせる。 ・文学的文章を読むときには、人物の行動や会話、場面の様子を理解し、いつ、どこで、だれが、どのようなことをしているのかを確認するとともに、登場人物の性格や気持ちの変化、情景等について、叙述を基に想像しながら読ませるようにする。 ・辞書を使って意味を調べたり、確かめたりする活動を授業に位置付け語彙を増やす。 <p>【社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が自ら課題を見出し、調べたくなるような教材や資料を準備する。 ・授業内で一度は地図帳を活用した学習を取り入れ、知識の定着を図る。 ・学習したことを短い期間で何度も繰り返し確認し、知識理解の定着を図る。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事柄や関係を的確にとらえるために、実際に図に描いたり、具体物や半具体物を用いて調べたり

<p>教員の 改善の取組</p>	<p>する学習・算数的活動を充実させる。 ・量感覚を豊かにするために、見当を付けたり、体験的、実感的に捉えられるように操作活動を多く取り入れる。 ・計算練習や単元の知識理解の基礎基本を定着させる時間を確保し、習熟を図る。 【理科】 ・実験の手順や過程が分かるように板書を工夫し、学習の流れを理解できるようにする。 ・実験器具の使い方は、繰り返し指導し、実技テスト等も取り入れながら徹底を図る。 ・実験結果の見方や観察の視点を示し、自分の考えをもつことができるようにする。 ・実験の目的をはっきりとさせ、実験の前後の変化に気付くことができるように指導する。 ・たくさんの資料に触れたり少人数で実験をしたりできるようにする。</p>
<p>検証方法</p>	<p>・単元末、学期末ごとにテストを行い一人一人の達成状況を把握するとともに、定着度によっては反復練習等を行い、習熟を図る。 ・授業の最後に学習感想を書く時間を確保し、ノートやワークシートの記述内容の分析と学習状況の確認を行う。</p>